

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																																
1. 農業委員会費	<p>農業委員は、知識と資質の向上に努めるべく研修を毎年行っており、本年度は道外視察研修を実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に収束の兆しが見えず、前年度に引き続き、まん延防止や安全確保の観点から実施を中止とした。</p> <p>遊休農地の発生防止に向けて、農地の利用状況等を調査する「農地パトロール」については、8月10日に農業委員と事務局職員の参加により例年どおり実施した。</p> <p>1. 農業委員会開催実績 令和3年4月～令和4年3月まで 12回</p> <p>2. 審議</p> <table border="1" data-bbox="370 584 1426 1182"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>件数</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">農 地 法</td> <td rowspan="2">譲 渡</td> <td>贈 与 (3条)</td> <td>9</td> <td>238.0</td> </tr> <tr> <td>売 買 (3条)</td> <td>1</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貸 借 (3条)</td> <td>8</td> <td>138.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農地転用</td> <td>4 条</td> <td>7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>5 条</td> <td>2</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>一時転用</td> <td>1</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">そ の 他 (3条)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農業経営 基盤強化 促進法</td> <td rowspan="2">所 有 権 移 転</td> <td>売 買</td> <td>6</td> <td>19.6</td> </tr> <tr> <td>贈 与</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸 借</td> <td>賃 貸 借</td> <td>170</td> <td>1,102.6</td> </tr> <tr> <td>使用貸借</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現 況 証 明</td> <td>6</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 委員会決定事項に基づく活動状況 (1) 農用地利用調整協議会活動 (実人数)</p> <table border="1" data-bbox="370 1283 1426 1462"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>譲渡・貸人</th> <th>譲受・借人</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所有権関係</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>19.6</td> </tr> <tr> <td>貸借権関係</td> <td>42</td> <td>127</td> <td>1,102.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48</td> <td>132</td> <td>1,122.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 嘱託登記 ・住所変更 0件 ・所有権移転 6件</p> <p>(3) 小委員会等活動状況 ・農地小委員会 6回 ・農業振興小委員会 1回</p> <p>4. 主要業務実績 (1) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・新規申請 ・贈与税納税猶予(暦年課税) 0件 ・不動産取得税徴収猶予 0件</p> <p>(2) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・継続申請</p> <table border="1" data-bbox="370 1872 1283 2024"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件数</th> <th>猶予税額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>贈与税納税猶予</td> <td>5件</td> <td>10,944,200円</td> </tr> <tr> <td>不動産取得税徴収猶予</td> <td>12件</td> <td>1,163,200円</td> </tr> </tbody> </table>				区 分		件数	面 積 (ha)	農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	9	238.0	売 買 (3条)	1	9.2	貸 借 (3条)		8	138.6	農地転用	4 条	7	1.0	5 条	2	8.1	計	9	9.1	一時転用	1	2.0	そ の 他 (3条)		—	—	農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	6	19.6	贈 与	—	—	貸 借	賃 貸 借	170	1,102.6	使用貸借	—	—	現 況 証 明		6	2.5	区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)	所有権関係	6	5	19.6	貸借権関係	42	127	1,102.6	計	48	132	1,122.2	区 分	件数	猶予税額	贈与税納税猶予	5件	10,944,200円	不動産取得税徴収猶予	12件	1,163,200円
区 分		件数	面 積 (ha)																																																																														
農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	9	238.0																																																																													
		売 買 (3条)	1	9.2																																																																													
	貸 借 (3条)		8	138.6																																																																													
	農地転用	4 条	7	1.0																																																																													
		5 条	2	8.1																																																																													
		計	9	9.1																																																																													
		一時転用	1	2.0																																																																													
	そ の 他 (3条)		—	—																																																																													
農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	6	19.6																																																																													
		贈 与	—	—																																																																													
	貸 借	賃 貸 借	170	1,102.6																																																																													
		使用貸借	—	—																																																																													
現 況 証 明		6	2.5																																																																														
区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)																																																																														
所有権関係	6	5	19.6																																																																														
貸借権関係	42	127	1,102.6																																																																														
計	48	132	1,122.2																																																																														
区 分	件数	猶予税額																																																																															
贈与税納税猶予	5件	10,944,200円																																																																															
不動産取得税徴収猶予	12件	1,163,200円																																																																															

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																											
	<p>(3) 諸証明事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産取得税特別控除に係る証明 5件</li> <li>・登録免許税軽減措置に係る証明 5件</li> <li>・譲渡所得税特別控除に係る証明 6件</li> <li>・営農証明 8件</li> </ul> <p>(4) 農地パトロール 8月10日に全町パトロールを実施。</p> <p>(5) 農業委員視察研修 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(6) 農業者年金推進事業 代議員会 4月12日 庁議室</p> <table border="1" data-bbox="368 600 1445 882"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th rowspan="3">加 入 者 数 (被保険者)</th> <th colspan="5">受給者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">計</th> <th colspan="2">新制度</th> <th colspan="2">旧制度</th> </tr> <tr> <th>老齢年金</th> <th>特例付加</th> <th>老齢年金</th> <th>移譲年金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年度新規</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3年度末実績</td> <td>269</td> <td>294</td> <td>52</td> <td>41</td> <td>38</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td></td> <td colspan="5">91,567,905円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	加 入 者 数 (被保険者)	受給者数					計	新制度		旧制度		老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金	3年度新規	12	7	4	1	2	0	3年度末実績	269	294	52	41	38	163	支給額		91,567,905円				
区 分	加 入 者 数 (被保険者)	受給者数																																										
		計	新制度		旧制度																																							
			老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金																																						
3年度新規	12	7	4	1	2	0																																						
3年度末実績	269	294	52	41	38	163																																						
支給額		91,567,905円																																										
2. 農業振興費	<p>1. 概要</p> <p>令和3年度の農業を顧みると、春耕期は比較的温暖であり、地温もやや高く推移したことから、馬鈴しょの植付は平年より早く始まり、4月中に完了した圃場も多くあった。また、てん菜の移植作業は断続的な降雨もあったが、平年並みに進み、豆類の播種作業も順調に進んだ。</p> <p>5月には、気温が低く日照時間も少なく経過したことから生育は緩慢であったが、6月に入り、気温が高く定期的に降雨もあったことから各作物とも生育は順調に進んだ。そのような中、6月中旬（6月14日）には一部地域で記録的短時間豪雨・降雹が発生し、雨水流入による冠水や滞水、降雹による茎葉損傷など作物への被害があった。</p> <p>7月以降は、真夏日が続き、最高気温35.9度を記録するなど極端な干ばつで経過し、作物への影響も懸念された。</p> <p>畜産を含めた全体の販売額（農畜産物販売高）は464億（前年444億円）と過去最高を更新し、7年連続で400億円の大台を超えた。</p> <p>農業を取り巻く情勢は、TPP以降、日欧EPA、日米貿易協定といった農業に打撃の大きい自由貿易協定が相次ぎ発行されているが、我が国の食料自給率が過去最低に低迷する深刻な現実を直視し、農業を守っていく姿勢が求められる。また、新型コロナウイルス禍で牛乳・乳製品の需要低迷が続き、生乳を破棄するような事態を回避するため、農業振興対策本部が中心となって消費拡大に取り組んだ。</p> <p>こうした中で、本町農業の持続的な発展を図るためには、需給動向を踏まえた計画的な作付け、生産コストの低減、さらには食の安全・安心の確保など、消費者及び実需者のニーズに応じていくとともに、環境負荷の軽減など環境と調和のとれた農業生産により、消費者等の信頼を得ていく取組みが必要である。</p> <p>このため、足腰の強い農業・農業者の育成を図るべく、各種町単独事業の継続的な実施及び各種補助事業の積極的な活用をはじめ、施設等整備に対する長期低利子融資制度の活用、関係機関と連携した各種施策の推進など農業の振興を図った。</p> <p>2. 農業の動向</p> <p>(1) 農家数の動向 (単位：戸)</p> <table border="1" data-bbox="368 1850 1437 1951"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>H27</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農家数</td> <td>355</td> <td>360</td> <td>364</td> <td>365</td> <td>367</td> <td>373</td> <td>377</td> <td>377</td> <td>380</td> <td>383</td> <td>387</td> </tr> </tbody> </table> <p>※産業振興課調べ</p>								R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	農家数	355	360	364	365	367	373	377	377	380	383	387													
	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23																																	
農家数	355	360	364	365	367	373	377	377	380	383	387																																	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																						
	(2) 主要畑作物の作付け動向				(単位：ha、kg/10a)																		
	馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン																
令和 3年	2,057	2,160	738	742	371	2,305	631																
令和 2年	2,104	2,090	631	931	370	2,272	623																
令和元年	2,125	2,100	763	849	356	2,310	634																
平成30年	2,167	2,120	770	762	391	2,300	641																
平成29年	2,229	2,150	775	652	419	2,360	599																
平成28年	2,140	2,190	826	549	548	2,380	602																
平成27年	2,076	2,210	551	806	536	2,440	597																
平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601																
平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594																
平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602																
平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578																
平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571																
平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439																
平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443																
平成 7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406																
平成 2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312																
昭和60年	3,200	2,283	223	602	421	2,243	146																
令和3年反収	3,931	7,118	325	281	205	769	1,690																
平年反収	3,924	6,306	271	282	200	536	1,514																
指 数	98	104	89	109	135	112	119																
	<p>3. 農業振興対策事業の実施状況</p> <p>国・道費を伴う補助事業の積極的な活用による農業振興を推進し、本年度においては、強い農業づくり事業補助金等により地域活性化に向けた事業を実施した。</p> <p>(1) 強い農業づくり事業補助金 (単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="368 1361 1449 1778"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1361 424 1406">事業区分</th> <th data-bbox="424 1361 1086 1406">事業内容</th> <th data-bbox="1086 1361 1267 1406">事業費</th> <th data-bbox="1267 1361 1449 1406">補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1406 424 1532">① 整備事業</td> <td data-bbox="424 1406 1086 1532">経営体の育成 (R3当初) (融資主体型補助) ・農作業機械の導入 (1戸：1台)</td> <td data-bbox="1086 1406 1267 1532">19,999,100</td> <td data-bbox="1267 1406 1449 1532">3,000,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1532 424 1655">② 整備事業</td> <td data-bbox="424 1532 1086 1655">産地競争力の強化 ・大豆バラ受入施設 ・令和2年度から令和3年度へ繰越</td> <td data-bbox="1086 1532 1267 1655">53,240,000</td> <td data-bbox="1267 1532 1449 1655">24,200,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1655 424 1778">③ 基金事業</td> <td data-bbox="424 1655 1086 1778">産地生産基盤パワーアップ事業 (生産支援事業) ・コンバイン導入 (9組合：9台)</td> <td data-bbox="1086 1655 1267 1778">159,555,000</td> <td data-bbox="1267 1655 1449 1778">72,525,000</td> </tr> </tbody> </table>							事業区分	事業内容	事業費	補助金	① 整備事業	経営体の育成 (R3当初) (融資主体型補助) ・農作業機械の導入 (1戸：1台)	19,999,100	3,000,000	② 整備事業	産地競争力の強化 ・大豆バラ受入施設 ・令和2年度から令和3年度へ繰越	53,240,000	24,200,000	③ 基金事業	産地生産基盤パワーアップ事業 (生産支援事業) ・コンバイン導入 (9組合：9台)	159,555,000	72,525,000
事業区分	事業内容	事業費	補助金																				
① 整備事業	経営体の育成 (R3当初) (融資主体型補助) ・農作業機械の導入 (1戸：1台)	19,999,100	3,000,000																				
② 整備事業	産地競争力の強化 ・大豆バラ受入施設 ・令和2年度から令和3年度へ繰越	53,240,000	24,200,000																				
③ 基金事業	産地生産基盤パワーアップ事業 (生産支援事業) ・コンバイン導入 (9組合：9台)	159,555,000	72,525,000																				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
	(2) その他国・道費等を伴う補助事業等			(単位：円)
	事業種目名	事業内容	事業費	補助金
①	農業経営基盤強化資金利子補給事業	スーパーL資金借入農家への一部利子補給	2,486,442	1,243,181
②	経営所得安定対策直接支払推進事業	経営所得安定対策の実施に係る事務費補助	268,960	268,960
③	農業振興施設等整備事業補助金	地域づくり総合交付金事業エチレン供給制御装置整備	31,900,000	14,500,000
④	畑作構造転換事業	てん菜の風害・湿害軽減技術の導入 (216,329a)	64,898,700	64,898,700
		病害虫抵抗性品種の導入 (101,863a)	30,558,900	30,558,900
		り病率の低い種子の供給に向けた取組 (22,760a)	18,208,000	18,208,000
		種子用馬鈴しょ品質向上技術導入の取組 (3,260a)	1,956,000	1,956,000
	(3) 町単独補助事業等			
	①農畜産物対策実行委員会負担金		210,000円	
	②農業後継者就農激励会負担金		80,312円	
	③農業振興対策本部助成金		9,600,000円	
	④農民組織運営活動助成金		3,100,000円	
	⑤循環型農業システム検討会活動助成金		20,440円	
	(4) 牛乳・乳製品消費拡大事業（農業振興対策本部助成金）			
	コロナ禍で牛乳・乳製品の需要が減り、春休みの学校給食休止などで需要が急減することが見込まれることから、生乳を破棄するような事態を回避するため、農業振興対策本部が中心となって町内での牛乳・乳製品の消費拡大に取り組んだ。			
	取組内容	取組期間	事業費	
①	学校給食や施設等の食事に乳製品をもう1品	令和4年2月1日～ 3月31日	550,207	
②	小中学生に1人当たり1,000円分の牛乳クーポン券を配布	令和4年3月18日発送 ～4月7日	3,488,286	
③	町内全世帯に1世帯当たり1,000円分のクーポン券を配布	令和4年2月16日発送 ～4月7日		
④	牛乳パック5枚で牛乳クーポン券1枚(200円分)と引換	令和4年2月16日～ 3月15日		
⑤	牛乳乳製品消費拡大PR用のぼり作成・設置(卓上、通常)	令和4年4月15日～	136,400	
⑥	新型コロナワクチン接種会場での牛乳(200ml)を配布	令和4年2月1日～ 3月28日	275,184	
⑦	町主催会議等での牛乳利用促進の取り組み	令和4年2月1日～ 3月31日	23,616	
		合計	4,473,693	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績										
	4. 農業後継者関係 新規就農農業後継者調べ										
	年度	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
	人数	6	9	5	9	9	2	7	9	8	8
	5. 担い手育成関係 担い手相談員1名を任命し、町の将来を担う者の結婚推進に関する相談・助言・情報収集、担い手支援協議会との連絡協調、農業後継者等及びそのグループ活動の育成確保に関する相談・助言を実施している。 令和3年度委嘱 中田義弘氏（常盤）										
	6. 土幌町農畜産物加工研修施設（しほろキッチン） 土幌町の農畜産物の有効活用を通じた農業振興及び地域住民の生活向上を目的として、特産品の研究開発や加工技術の調査研究の拠点、「食」をキーワードに住民が集う食育の場としての役割を担っており、これら「食」に関する研修や相談指導、イベント等の実施を通して「食」の発展と地域産業の振興、担い手育成に努め、円滑な施設の運営を進める。										
	(1) 指定管理委託 (株)CheerSに指定管理者として委託し、施設を管理運営させた。指定管理委託料は、施設の管理に要する経費から利用料相当分を差し引き、16,060,000円の年度協定を締結したが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により、第3及び第4四半期分が辞退となり、8,030,000円となった。										
	(2) 各研修等実施日数及び延べ人数										
	加工室等		日 数	回 数	延べ人数						
	農産ゾーン		13	13	104						
	乳産ゾーン		8	8	16						
畜産ゾーン		6	6	25							
パーティールーム		0	0	0							
計		27	27	145							
※1回の研修で複数の加工室等を使う場合がある。											
(3) 施設使用料等											
項 目		金額 (円)									
施設使用料		41,386									
原材料及び包装費		61,773									
実費負担		18,722									
主催研修参加費		0									
計		121,881									
(4) 施設設備改修 冷凍庫設置工事 4,785,000円											

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
3. 農 業 振 興 基 金 運 用 事 業 費	1. 運用事業実績 (1) 一般基金			
	歳入	基金利子収入		36,817,792
		基金繰入金		4,860,000
		寄付金		3,500,000
		計		45,177,792
	歳出	農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	329,000
		農業廃棄物処理事業	農業用廃プラ処理経費助成	2,064,000
		基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成	4,860,000
		コントラ会事業助成金	※他町費 3,240,000 円 コントラクター組織活動助成	150,000
		積立金		37,748,272
		運営費	報酬・旅費	26,520
	計		45,177,792	
	年度末基金残高		532,525,674 円	
	(2) 特別基金			
	1号基金			
	基金利子収入	13,231,288 円		
	年度末基金残高	986,120,178 円		
2号基金				
	基金利子収入	973,332 円		
	年度末基金残高	74,121,727 円		
	1号基金+2号基金	1,060,241,905 円		
2. 不動産保有の明細 (一般基金)				
住 所	地 目	面 積 (㎡)		
白老郡白老町字石山 109 番地 16	原 野	25,893		
" 109 番地 18	"	15,460		
" 109 番地 36	"	3,360		
計		44,713		
苫小牧市字植苗 112 番地 2	山 林	97,964		
" 112 番地 6	"	17,507		
計		115,471		
(特別基金)				
住 所	地 目	面 積 (㎡)		
苫小牧市字美沢 1 番地 3	山 林	53,144		
" 1 番地 5	"	13,008		
" 1 番地 6	"	11,147		
" 1 番地 7	宅 地	1,417.19		
計		78,716.19		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																													
4. 農業振興人材育成基金運用事業費	運用事業実績																													
	歳入	項 目	内 容	金 額 (円)																										
		計		1,280,267																										
	歳出	農協青年・女性部研修講座等受講助成金	農協青年・女性部研修助成	45,000																										
		アグリ研究グループ活動事業助成金	農業技術研究活動経費助成	427,000																										
		積立金		799,267																										
		運営費	報酬	9,000																										
計		1,280,267																												
年度末基金残高		141,488,138 円																												
5. 畜産業費	1. 概要																													
	<p>本町の生乳生産状況は、全道的に畜産クラスター事業等による規模拡大に向けた後押しもあり、全道で対前年度比103.2%、本町においては同比104.8%となり、昨年度を上回る101,967トンとなったが、世界的なコロナ禍の影響により需給バランスが崩れ飲用需要が低迷し、乳製品の在庫の増加により、下期には生乳生産の抑制、家畜の淘汰を講じることとなった。また、生乳販売高についても約98億円と昨年度よりも高い実績となったが、コロナ禍の影響に伴う加工仕向や出口対策により、乳価は下落する結果となった。生乳生産の抑制や飼料・原油価格の高騰など経営環境の厳しい状況が続くが、関係機関と連携し、課題解決に向けた取組が必要である。</p> <p>肉牛については、昨年度、土幌町肉牛振興会が50周年を迎え、記念事業としてロゴマークが更新された。肉牛経営においては、現地価格の高騰により外国産牛肉の輸入量が前年を下回った影響で一部の品種は堅調に推移したが、飼料価格の高止まりや敷料不足等による生産費の高騰が影響し、極めて厳しい状況となった。</p> <p>防疫対策については、十勝家畜保健衛生所との連携のもと防疫体制の強化を図り、十勝管内における家畜の監視伝染病発生も依然として高いことから、引き続きまん延を最小限に抑える取り組みが必要である。</p> <p>なお、畜産振興として各種団体に対する助成を行ったほか、国の高収益型畜産体制構築事業を活用し、土幌町酪農畜産クラスター協議会において、産地の取組項目や収益向上目標等の計画を基に機械導入を行い、作業効率の向上を図った。</p>																													
	2. 統計																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>飼養頭数(単位:頭)</th> <th>飼養戸数(単位:戸)</th> <th>生乳生産量(単位:トン)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳牛</td> <td>19,121</td> <td>75</td> <td>101,967</td> </tr> <tr> <td>ホル雄</td> <td>30,975</td> <td rowspan="2">32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肉用種(F1)</td> <td>24,506</td> <td></td> </tr> <tr> <td>黒毛和牛</td> <td>1,916</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>馬</td> <td>30</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76,548</td> <td>122</td> <td>101,967</td> </tr> </tbody> </table>	区分	飼養頭数(単位:頭)	飼養戸数(単位:戸)	生乳生産量(単位:トン)	乳牛	19,121	75	101,967	ホル雄	30,975	32		肉用種(F1)	24,506		黒毛和牛	1,916	8		馬	30	7		計	76,548	122	101,967	<p>※飼養戸数…「ホル雄・肉用種(F1)」と「黒毛和牛」で一部重複あり</p>	
区分	飼養頭数(単位:頭)	飼養戸数(単位:戸)	生乳生産量(単位:トン)																											
乳牛	19,121	75	101,967																											
ホル雄	30,975	32																												
肉用種(F1)	24,506																													
黒毛和牛	1,916	8																												
馬	30	7																												
計	76,548	122	101,967																											
<p>3. 家畜伝染病予防法に基づく検査状況</p> <p>家畜伝染病の発生やまん延を防止するため、法第51条検査において継続的に発生している農家7戸に引き続き検査を実施し対策を講じ、清浄化を図った。</p>																														

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績		
	4. 家畜改良増殖法による種畜検査		
	区 分	頭 数	備 考
	種 雄 牛	4	黒毛和牛3頭、ホルスタイン種1頭
	種 雄 馬	4	日本ポニー種2頭、シェットランド系種1頭、 日本ミニチュアホース種1頭
	5. 畜産振興助成金等事業 (単位：円)		
	事 業 名	金 額	
	乳牛検定事業活動助成金	1,680,000	
	酪農振興協議会活動助成金	105,000	
	肉牛振興会活動助成金	56,000	
	馬事振興会活動助成金	28,000	
酪農ヘルパー事業助成金	3,200,000		
家畜損害防止事業助成金	3,560,000		
畜舎等衛生事業助成金	1,000,000		
6. 酪農振興基金事業運用実績 (単位：円)			
	項 目	内 容	金 額
歳 入	基金利子収入(1号)		1,705,759
	基金繰入金		1,682,780
	基金利子収入(2号)		515,897
	計		3,904,436
歳 出	酪農振興基金運用委員会運営費	委員報酬	15,000
	〃	委員費用弁償	1,960
	酪農ヘルパー事業助成金	酪農ヘルパー事業助成	1,700,000
	(1号)基金利子再積立		1,683,315
	(2号)基金利子再積立		504,161
計		3,904,436	
年度末基金残高 326,103,225 円			
〔 内訳 1号：224,442,569 円 〕			
〔 2号：101,660,656 円 〕			
6. 土地改良事業費	<p>1. 土地改良事業関係</p> <p>土地基盤整備の実施により農業生産性の向上と経営基盤の強化を図るため、主に暗渠排水及び石礫除去等の圃場整備を優先し、併せて、営農の基本となる湿害防止のための明渠排水、農道整備を実施した。</p> <p>団体営事業では、農道整備事業、小規模土地改良事業及び農地耕作条件改善事業を実施した。</p> <p>道営事業では、農地整備事業継続4地区（土幌南部第2地区、第2下居辺地区、土幌川西地区、土幌川西東北地区）、通作条件整備事業継続1地区（北中地区）、水利施設整備事業1地区（新田地区）の調査計画、農道特別対策事業継続1地区（上居辺地区（柏・柏野））を実施した。</p> <p>国営事業では、かんがい排水事業継続1地区（富秋土幌川下流地区）を実施した。各事業の実施状況は次のとおりである。</p>		



項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	(1) 団体営事業 (事業主体: 町) ( ) 前年度					
	事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助額 (千円・%)
	農道整備	新栄	農道 L=1,100m	(25,872) 22,143	新	—
	小規模土地改良	実勝	排水路 L= 146m	(12,023) 6,061	新	3,030
農地耕作条件	士幌南	排水路 L= 890m	(35,288) 125,047	継	国・道 64	
	(2) 道営事業 ( ) 前年度					
	事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助率 (%)
	道営農地整備	士幌 南部第2	明渠排水 L=1,118m 農道 L= 550m 区画整理 A= 92.4ha 石礫除去 A= 6.6ha 調査設計一式	(158,651) 356,912	継	国・道 80
		第2 下居辺	区画整理 A=162.2ha 調査設計一式	(181,885) 258,183	継	"
		士幌 川西西	区画整理 A= 97.0ha 排水路 調査設計一式 農用地造成 調査設計一式	( 77,473) 171,211	継	"
		士幌 川西東北	区画整理 調査設計一式	( 150) 47,993	継	"
	道営通作条件整備	北中	橋梁1橋 L= 22m 附帯工一式	(43,494) 65,546	継	国・道 77.5
	道営水利施設整備	新田	調査計画一式	( 0) 515	継	国・道 81
	道営農道特別対策	上居辺 (柏・柏野)	農道 L= 320m	(83,620) 23,683	継	道 50
	計		区画整理 A=351.6ha 石礫除去 A= 6.6ha	(783,598) 924,043		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
			明渠排水 L= 1,118m 農道 L= 550m 調査設計一式 排水路 調査設計一式 農用地造成 調査設計一式 橋梁1橋 L= 22m 附帯工一式 調査計画一式		
(単位：千円)					
	国・道補助金	北電等	地元負担金	うち町負担金 (PU助成含む)	
負担内訳	(583,023) 730,336	(0) 0	(200,575) 193,707	(130,579) 78,116	
<p>(3) 次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業 担い手農家の育成・確保に向けた生産基盤の整備を促進するため、国（促進費）及び道と市町村が連携して農家負担を軽減した。負担割合及び負担額は次のとおりである。</p>					
	地元負担	うち農家負担	うち促進費	うち道負担	うち町負担
道営農地整備	20%	7.67%	6.41%	2.96%	2.96%
負担額（千円）	114,496	43,912	36,703	16,940	16,940
<p>(4) 国営かんがい排水事業 富秋土幌川下流地区は、調査設計・用地補償・工事を実施した。 (前年度196,168千円) 事業費286,264千円</p>					
<p>2. 町単独事業として実施した事業 明渠排水路維持工事として、土幌南地区明渠排水整備工事ほかを実施した。 (前年度12,997千円) 事業費15,650千円</p>					

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																						
	<p>3. 多面的機能支払交付金事業 平成19年度から実施している農地・水・環境保全向上対策事業は、平成24年度より農地・水保全管理支払交付金事業、平成26年度より多面的機能支払交付金事業として町内農村部全9地区が共同活動を行った。</p> <table border="1" data-bbox="368 423 1417 943"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>農用地面積 (h a)</th> <th>交付金 (千円)</th> <th>うち町負担 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>西 上</td><td>1,396.10</td><td>14,701</td><td>3,675</td></tr> <tr><td>上居辺</td><td>2,600.00</td><td>33,923</td><td>8,481</td></tr> <tr><td>中士幌</td><td>928.39</td><td>10,964</td><td>2,741</td></tr> <tr><td>士幌南</td><td>2,006.84</td><td>24,856</td><td>6,214</td></tr> <tr><td>佐 倉</td><td>1,499.79</td><td>12,362</td><td>3,090</td></tr> <tr><td>士幌北</td><td>1,507.78</td><td>18,177</td><td>4,544</td></tr> <tr><td>下居辺</td><td>1,117.47</td><td>9,451</td><td>2,363</td></tr> <tr><td>北 中</td><td>1,732.59</td><td>10,778</td><td>2,695</td></tr> <tr><td>新 田</td><td>1,633.06</td><td>8,832</td><td>2,208</td></tr> <tr><td>計</td><td>14,422.02</td><td>144,044</td><td>36,011</td></tr> </tbody> </table>						地区名	農用地面積 (h a)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)	西 上	1,396.10	14,701	3,675	上居辺	2,600.00	33,923	8,481	中士幌	928.39	10,964	2,741	士幌南	2,006.84	24,856	6,214	佐 倉	1,499.79	12,362	3,090	士幌北	1,507.78	18,177	4,544	下居辺	1,117.47	9,451	2,363	北 中	1,732.59	10,778	2,695	新 田	1,633.06	8,832	2,208	計	14,422.02	144,044	36,011					
地区名	農用地面積 (h a)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)																																																				
西 上	1,396.10	14,701	3,675																																																				
上居辺	2,600.00	33,923	8,481																																																				
中士幌	928.39	10,964	2,741																																																				
士幌南	2,006.84	24,856	6,214																																																				
佐 倉	1,499.79	12,362	3,090																																																				
士幌北	1,507.78	18,177	4,544																																																				
下居辺	1,117.47	9,451	2,363																																																				
北 中	1,732.59	10,778	2,695																																																				
新 田	1,633.06	8,832	2,208																																																				
計	14,422.02	144,044	36,011																																																				
7. 農地利用集積円滑化事業基金運用事業費	<p>1. 事業による管理地</p> <table border="1" data-bbox="368 1016 1417 1211"> <thead> <tr> <th></th> <th>管理件数</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>取得価格 (円)</th> <th>利子補給金 (円)</th> <th>管理費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度末管理地</td> <td>22</td> <td>1,486,587</td> <td>210,103,943</td> <td>3,067,506</td> <td>1,633,548</td> </tr> <tr> <td>令和3年度指定管理地</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 運用事業実績</p> <table border="1" data-bbox="368 1279 1417 1671"> <thead> <tr> <th></th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>基金利子収入</td> <td></td> <td>4,516,150</td> </tr> <tr> <td>運用益金</td> <td></td> <td>7,224,139</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>11,740,289</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">歳出</td> <td>管理費補助・利子補給金</td> <td></td> <td>4,701,054</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td></td> <td>7,016,035</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>報酬・旅費</td> <td>23,200</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>11,740,289</td> </tr> <tr> <td colspan="3">年度末基金残高</td> <td>316,341,452円</td> </tr> </tbody> </table>							管理件数	面積 (㎡)	取得価格 (円)	利子補給金 (円)	管理費 (円)	令和3年度末管理地	22	1,486,587	210,103,943	3,067,506	1,633,548	令和3年度指定管理地	0	0	0				項 目	内 容	金 額 (円)	歳入	基金利子収入		4,516,150	運用益金		7,224,139	計		11,740,289	歳出	管理費補助・利子補給金		4,701,054	積立金		7,016,035	運営費	報酬・旅費	23,200	計		11,740,289	年度末基金残高			316,341,452円
	管理件数	面積 (㎡)	取得価格 (円)	利子補給金 (円)	管理費 (円)																																																		
令和3年度末管理地	22	1,486,587	210,103,943	3,067,506	1,633,548																																																		
令和3年度指定管理地	0	0	0																																																				
	項 目	内 容	金 額 (円)																																																				
歳入	基金利子収入		4,516,150																																																				
	運用益金		7,224,139																																																				
	計		11,740,289																																																				
歳出	管理費補助・利子補給金		4,701,054																																																				
	積立金		7,016,035																																																				
	運営費	報酬・旅費	23,200																																																				
	計		11,740,289																																																				
年度末基金残高			316,341,452円																																																				
8. 林業振興費	<p>1. 民有林振興対策事業 林業を取り巻く情勢は、ウッドショックの影響により伐採量の急増も予想されることから、伐採後の再植林を積極的に進めなければ、今後、造林未済地が増加することが懸念される。一方、森林の二酸化炭素吸収による地球温暖化防止や地球にやさしい循環資源である木材利用の拡大など森林・林業に対する期待が高まっている。 このような状況を踏まえ、国や道による各種施策が展開され、本町においては、関係機関と連携して林業の振興や民有林の整備を推進した。</p>																																																						

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	(1) 豊かな森づくり推進事業 伐採後の確実な植林等を実施することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能の発揮を図るため、植栽事業の経費の一部を補助した。					
	事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち道補助金(円)		
	造 林	24.34	5,583,606	3,436,054		
	(2) 輝く未来につなぐ森林整備事業 植林後の下刈り、保育間伐等に支援することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、下刈り・保育間伐事業の経費の一部を補助した。					
	事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち森林基金(円)		
	下 刈	83.61	1,959,362	1,959,362		
	保 育 間 伐	4.86	112,858	112,858		
	計	88.47	2,072,220	2,072,220		
	(3) 森林認証 平成27年度に十勝管内17市町村と12森林組合、その他20法人及び個人の森林所有者でとち森林認証協議会を組織し、第三者機関による森林認証「S G E C」を取得。町内の民有林2,337haの森林認証を受けている。					
	2. 林業関係団体負担金					
(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金 65,000円 (2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金 38,000円 (3) 北海道造林協会負担金 48,000円 (4) 森林整備担い手対策推進事業負担金 88,850円 (5) とち森林認証協議会負担金 188,540円						
3. 有害鳥獣駆除事業						
エゾシカの生息環境等の変化に伴い農業被害が広範囲で発生しており、猟友会の協力を得て個体数調整捕獲や巡回などの対策を実施している。 エゾシカ被害の軽減対策として、士幌町農業協同組合との共同事業である地域エゾシカ対策事業として「くくりわな」による捕獲を実施した。 キツネやカラスによる農畜産業被害や生活環境被害の対策として、箱わなによる捕獲を通年実施した。 平成22年度に組織した士幌町鳥獣被害防止対策協議会（構成団体：士幌町農業協同組合、十勝大雪森林組合、猟友会士幌部会、十勝総合振興局農業改良普及センター十勝北部支所、士幌町）では、有害鳥獣の一斉捕獲など鳥獣被害防止対策を行った。						
有害鳥獣捕獲状況 ( ) は、わな捕獲内数						
鳥獣区分	ヒグマ (頭)	エゾシカ (頭)	キツネ (匹)	カラス (羽)	ドバト (羽)	アライグマ (匹)※
3年度	1 (0)	239 (17)	109 (65)	201 (192)	0 (0)	30 (30)
2年度	1 (0)	182 (17)	117 (54)	51 (15)	0 (0)	12 (12)
元年度	0 (0)	120 (11)	157 (92)	26 (6)	0 (0)	9 (9)
※アライグマは「特定外来生物」						
(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金 91,000円 (2) 有害鳥獣捕獲報償費 2,759,600円 (3) キツネ捕獲等委託料 715,000円 (4) カラス捕獲檻管理委託料 390,000円 (5) 地域エゾシカ対策事業助成金 33,540円						

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																	
	<p>4. 森林環境譲与税基金事業運用実績</p> <p>令和元年度から譲与（配分）が開始された森林環境譲与税は、土幌町における間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充て、基金への積立てを行った。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="397 452 1447 904"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">歳 入</td> <td>森林環境譲与税</td> <td>—</td> <td>5,519,000</td> </tr> <tr> <td>基金利子</td> <td>—</td> <td>627</td> </tr> <tr> <td>基金繰入金</td> <td>—</td> <td>2,072,220</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>7,591,847</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歳 出</td> <td>輝く未来につなぐ 森林整備事業</td> <td>民有林の下刈・保育間伐事業の経費 へ一部補助</td> <td>2,072,220</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>—</td> <td>5,519,627</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>7,591,847</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">年度末基金残高 9,725,876円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	項 目	内 容	金 額	歳 入	森林環境譲与税	—	5,519,000	基金利子	—	627	基金繰入金	—	2,072,220	計		7,591,847	歳 出	輝く未来につなぐ 森林整備事業	民有林の下刈・保育間伐事業の経費 へ一部補助	2,072,220	積立金	—	5,519,627	計		7,591,847	年度末基金残高 9,725,876円			
区 分	項 目	内 容	金 額																															
歳 入	森林環境譲与税	—	5,519,000																															
	基金利子	—	627																															
	基金繰入金	—	2,072,220																															
	計		7,591,847																															
歳 出	輝く未来につなぐ 森林整備事業	民有林の下刈・保育間伐事業の経費 へ一部補助	2,072,220																															
	積立金	—	5,519,627																															
	計		7,591,847																															
年度末基金残高 9,725,876円																																		
9. 林 道 費	<p>林道整備は森林の多面的機能を維持的に発揮していくための基盤であり、持続可能な森林経営を実現するために、簡易で丈夫な使いやすい道づくりを進め、林業の生産向上に努めている。</p> <p>本年度は、森林環境保全整備事業国庫補助事業道営林道「ワッカ美加登線」事業の開設延長219mが実施された。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="368 1151 1441 1254"> <thead> <tr> <th></th> <th>国・道補助金</th> <th>町負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負 担 内 訳</td> <td>28,329</td> <td>9,443</td> </tr> </tbody> </table>				国・道補助金	町負担金	負 担 内 訳	28,329	9,443																									
	国・道補助金	町負担金																																
負 担 内 訳	28,329	9,443																																
10. そ の 他	<p>コミュニティセンター利用状況</p> <table border="1" data-bbox="368 1323 962 1426"> <thead> <tr> <th>利用延べ団体数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>108 団体</td> <td>4,313 人</td> </tr> </tbody> </table>			利用延べ団体数	利用人数	108 団体	4,313 人																											
利用延べ団体数	利用人数																																	
108 団体	4,313 人																																	